

事業所名

やんちゃkids東筑山形

支援プログラム

作成日

2025年

3月

10日

法人（事業所）理念	会社の名前「ブッソール」は羅針盤の意味です。自分の進むべき方向がわかり、風の中でも嵐の中でも様々な困難な中でも常に方位を示し進むべき道を示す羅針盤…そんな「心の羅針盤」を子どもたちひとりひとりの心の中につくっていきけるような支援をしていきます						
支援方針	子どもたちが将来社会に出たときに自分に自身を持って生きていけるように。たくさんの人達と関わる中で、将来、社会に出るときに、おとなが安心して手放すことのできるひとに育つ事ができるように支援していきます。集団療育を取り入れて、個別指導と合わせて友達関係のなかで、様々な体験を積み、安心して社会に出られるような基礎を作ります。						
営業時間	8時	0分から	17時	45分まで	送迎実施の有無	○あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	集団療育と個別療育を取り入れて療育を行うなかで、生活リズムを整えて、身体づくりを行う。合わせて、集団のなかで大きい子を見習ったり、教わったりしながら生活力を育てていく。					
	運動・感覚	作業療法士、理学療法士、運動指導員等によりその子の身体機能、運動機能の課題を明確にして、体幹づくりから始まり、リズム体操、屋外の運動など、大きな動きから小さな動き、求められる運動的経験などに取り組む。感覚の鈍感、過敏等の課題を明らかにして、感覚を補うべく感覚統合遊び等を取り入れる。					
	認知・行動	集団に「帰れる場所」とすることで、例えば癇癪を起こしたとしても穏やかに見守りながら自分で落とし所を見つけたり、切り替えできるように導いていく。					
	言語 コミュニケーション	おやつ作り、食事作りなどの共同作業をすることで、お互いのコミュニケーションをとりながらコミュニケーション能力を高めていく。合わせて集団療育の中でコミュニケーションの練習を図る。					
	人間関係 社会性	様々なイベントや集団活動を通して、役割分担、大きい子が小さい子の面倒を見るなど集団の中での人間関係、社会性などを学ぶ。					
家族支援	家族の荷重負担にならないように、保護者からの相談を随時受ける。必要に応じて相談支援事業所の協力の下、当事業所以外の地域資源を活用したり、事業所内で融通を図れることを検討するなど。			移行支援	相談支援専門員、保護者、保育園、学校、その他諸施設、機関と連携して本人の希望を尊重しながら支援。		
地域支援・地域連携	行政や常会等と連携して、地域の連携を図っている。障害福祉以外の学校、保育園その他との協議、連携。			職員の質の向上	年6回の外部講師による研修、その際にケース検討。その他、虐待防止研修など。		
主な行事等	おやつ作り、食事作り、学校文化祭訪問、藍染その他体験イベント、公園で体験学習、川遊び、その他						